

広報のための

情報漏洩対応 ケーススタディ

～ あの企業の失敗に学ぶ広報実務 ～

「あの対応が誤報を招いた！」

実際の事件を元に、事後対応の是非をディスカッション。

明日から使える実践的内容を、著名広報コンサルタントが
分かりやすく解説します。

参加
無料

年間開催スケジュール

	東京会場	大阪会場
2010年7月	7月8日(木)	7月15日(木)
2010年11月	11月11日(木)	11月9日(火)
2011年2月	2月17日(木)	—

※ 内容は各回とも同じです。

各回とも先着50名様限定

[ディスカッション・テーマの例]

- プレスリリースを打つタイミングは？
- プレスリリースに数字を出すべきか？
- なぜ誤報が起きるのか？
- 記者会見の時期、方法は正しかったのか？
- おわびの「しるし」、そのあるべき姿とは？
- 不祥事直後の企業広告はどうするべきか？

講師：山見博康 氏

(山見インテグレーター株式会社 代表取締役 広報・危機対応コンサルタント)

1968年九州大学経済学部卒業。神戸製鋼所入社、広報部長、コンサルティング会社出向等を経て2002年に独立。自らの豊かな体験と有力企業・メディアとの広範なネットワークを活かした実践的で明快な指導には定評がある。福岡県出身。

【著書】「広報・PR 実務ハンドブック」「新聞・テレビ・雑誌・ウェブに取り上げられるPRネタの作り方」(日本能率協会マネジメントセンター)
「会社をマスコミに売り込む法」「広報の達人になる法」(ダイヤモンド社)
「わかる！使える！広報活動のすべて」(PHP ビジネス新書) ほか多数



「広報のための情報漏洩対応ケーススタディ」 広報セミナー開催概要

業種を問わず企業最大のリスクとなり得る「情報漏えい問題」。
セキュリティやシステム管理の面からの事前対策ばかりが取り沙汰されますが、事後対応において広報部門の果たす役割は重大です。
にも関わらず、これまで広報部門の立場で情報漏えいの対応策を考える場はあまりありませんでした。
本セミナーでは実際の事例を用いて、会社が採るべき選択肢やその際に陥るであろうジレンマなど、具体的な課題をみなさんと一緒にディスカッションしながら解いていきます。

タイトル：「広報のための情報漏洩対応ケーススタディ
～あの企業の失敗に学ぶ広報実務～」

日時：(各回とも 16:00～18:30)

	東京会場	大阪会場
2010年 7月	7月 8日(木)	7月15日(木)
2010年11月	11月11日(木)	11月 9日(火)
2011年 2月	2月17日(木)	—

対象：広報部課長以上 または マネジャークラスの方

進行： 16時00分 ご挨拶と背景説明
 16時10分 ケースディスカッション(下記はテーマ例)
 ・プレスリリースを打つタイミングは？
 ・プレスリリースに数字を出すべきか？
 ・なぜ誤報が起きるのか？
 ・記者会見の時期、方法は正しかったのか？
 ・おわびの「しるし」、そのあるべき姿とは？
 ・不祥事直後の企業広告はどうするべきか？
 17時20分 SPIDER PRO による事例紹介
 17時50分 まとめ
 危機にいかに対応するか～広報の本質～
 18時00分 懇親会
 18時30分 閉会

東京会場

スタジアムプレイス青山

住所：東京都港区北青山 2-9-5

交通：東京メトロ銀座線「外苑前駅」3番出口より徒歩2分

電話：0800-111-4006



大阪会場

TKP 大阪梅田ビジネスセンター

住所：大阪府大阪市福島区福島 5-4-21

TKP ゲートタワービル 8F カンファレンスルーム 8C

交通：JR「大阪駅」・阪急「梅田駅」・阪神「梅田駅」・地下鉄四つ橋線「西梅田駅」の地下街を歩いて6-2番出口より徒歩30秒

JR線「福島駅」徒歩2分 阪神線「福島駅」徒歩5分

JR東西線「新福島駅」徒歩5分

電話：06-4797-6610



申込要領

Webサイトのセミナー申込登録フォーム、または同封のFAX申込用紙にてご連絡いただきますようお願い申し上げます。

申込登録フォーム：<http://www.ptp.co.jp/seminar/>

※ 多数のご応募が予想されるため、ご希望の方はお早めにお申込みください。

お申込は先着順で受付させていただきます、各回とも定員50名になり次第、締め切らせていただきます。

お問い合わせ 株式会社 PTP 営業グループ 担当：鈴木

電話：03-5465-1662 FAX：03-5465-1628